

平成28年3月期 決算概要

1. 連結決算概要(経営成績)

(単位:億円)

区 分	H28/3 期 実績 (A)	H27/3 期 実績 (B)	増減		番号	
			(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %		
営業収益	高速道路事業	8,305	9,615	▲ 1,309	▲ 13.6	
	料金収入	7,396	7,181	214	3.0	
	道路資産完成高	879	2,400	▲ 1,521	▲ 63.4	
	その他	30	32	▲ 2	▲ 7.0	
	関連事業	535	504	30	6.1	
	SA・PA事業 ^{※2}	338	327	11	3.5	
	その他の事業 ^{※3}	196	177	19	10.8	
計	8,841	10,120	▲ 1,278	▲ 12.6		
営業費用	高速道路事業	8,267	9,606	▲ 1,339	▲ 13.9	
	道路資産賃借料	5,336	5,210	126	2.4	
	道路資産完成原価	879	2,400	▲ 1,521	▲ 63.4	
	管理費用	2,051	1,995	56	2.8	
	関連事業	476	458	18	3.9	
	SA・PA事業 ^{※2}	279	277	1	0.6	
	その他の事業 ^{※3}	196	180	16	9.1	
計	8,743	10,064	▲ 1,321	▲ 13.1		
営業利益	高速道路事業	38	8	29	347.6	
	関連事業	59	46	12	27.0	
	(うちSA・PA事業)	59	49	9	19.8	
計	97	55	42	76.9		
経常利益	128	79	48	60.6	②①	
当期純利益 ^{※4}	73	30	43	144.0	②②	

※1 当社グループは、当社及び連結子会社26社、持分法適用の関連会社等7社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っています。

※2 「SA・PA事業」とは、高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)における飲食・物販及びその不動産を賃貸する等の事業をいいます。

※3 「その他の事業」とは、受託事業、駐車場事業、トラックターミナル事業、コンサルティング事業及び収益還元事業等の事業をいいます。

※4 「当期純利益」には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

※5 億円未満は、切り捨てで表示しています。以下同様です。

文中の丸囲み番号は、1ページの表の右側に記載の「番号」と対応しています。

2. 高速道路事業トピックス

- 当社管内の高速道路の通行台数は、前期比2.3%増の1,014百万台となり、料金収入は、前期比214億円増の7,396億円となりました。...
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「高速道路機構」といいます。）に対する道路資産賃借料は、料金収入の増加に伴い、前期比126億円増の5,336億円となりました。...
- 管理費用は、道路保全点検や舗装補修費用の増加などにより、前期比56億円増の2,051億円となりました。...
- 以上のことなどから、高速道路事業の営業利益は、前期比29億円増の38億円となりました。...
- 道路資産完成高は、中国自動車道^{ゆめさき}夢前スマートインターチェンジの完成などがありましたが、前期のような徳島自動車道^{とくしま}（徳島インターチェンジ～鳴門ジャンクション^{なると}）や東九州自動車道^{ふぜん}（豊前インターチェンジ～宇佐インターチェンジ^{うさ}、行橋^{ゆくはし}インターチェンジ～みやこ豊津^{とよつ}インターチェンジ）の完成といった大規模の新規完成がなかったことから、前期比1,521億円減の879億円となりました。...
なお、道路建設にかかった経費と同額の債務を高速道路機構に引き渡すため、道路資産完成高は道路資産完成原価と同額となり、道路建設から利益や損失は発生しません。...

文中の丸囲み番号は、1ページの表の右側に記載の「番号」と対応しています。

3. 関連事業トピックス

- S A ・ P A 事業の営業収益は、通行台数の増加を受けて前期比 11 億円増の 338 億円となりました。その一方で、営業費用は販管費の減少などにより、前期比 1 億円増の 279 億円となりました。... 、
- S A ・ P A 事業の営業利益は、前期比 9 億円増の 59 億円となりました。
...
- 関連事業全体の営業利益は、上記の S A ・ P A 事業営業利益の増加により、前期比 12 億円増の 59 億円となりました。...

4. 全事業の業績

- 以上のことから、全事業の営業収益は、前期比 1,278 億円減の 8,841 億円となりました。...
- 利益面では、営業利益は前期比 42 億円増の 97 億円、経常利益は前期比 48 億円増の 128 億円、当期純利益は前期比 43 億円増の 73 億円となりました。
... 、 ⑳、㉑

【参考1】 個別決算概要(経営成績)について

(単位:億円)

区 分		H28/3 期 実績 (A)	H27/3 期 実績 (B)	増減	
				(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %
営業収益	高速道路事業	8,286	9,591	▲ 1,304	▲ 13.6
	料金収入	7,398	7,183	214	3.0
	道路資産完成高	879	2,400	▲ 1,521	▲ 63.4
	その他	9	6	2	38.2
	関連事業	213	204	8	4.3
	SA・PA事業	105	105	▲ 0	▲ 0.0
	その他の事業	107	98	8	8.9
	計	8,499	9,795	▲ 1,295	▲ 13.2
営業費用	高速道路事業	8,267	9,599	▲ 1,332	▲ 13.9
	道路資産賃借料	5,336	5,210	126	2.4
	道路資産完成原価	879	2,400	▲ 1,521	▲ 63.4
	管理費用	2,052	1,988	63	3.2
	関連事業	196	186	9	5.1
	SA・PA事業	77	78	▲ 1	▲ 1.5
	その他の事業	118	107	10	9.9
	計	8,464	9,786	▲ 1,322	▲ 13.5
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	18	▲ 8	27	-
	関連事業	16	17	▲ 0	▲ 4.3
	計	35	8	26	314.7
経常利益		70	37	33	89.9
当期純利益		41	4	36	737.6

【参考2】平成29年3月期業績予想

(単位:億円)

区 分		連結			個別
		H29/3 期 予想 (A)	H28/3 期 実績 (B)	増減 (A)-(B)	H29/3 期 予想
営業収益	高速道路事業	10,491	8,305	2,185	10,473
	うち料金収入	6,796	7,396	▲ 600	6,797
	うち道路資産完成高	3,675	879	2,796	3,675
	関連事業	627	535	91	282
	うちSA・PA事業	343	338	4	105
計		11,118	8,841	2,277	10,755
営業費用	高速道路事業	10,486	8,267	2,219	10,466
	道路資産賃借料	4,559	5,336	▲ 776	4,559
	道路資産完成原価	3,675	879	2,796	3,675
	管理費用	2,251	2,051	199	2,230
	関連事業	580	476	103	271
	うちSA・PA事業	300	279	20	85
計		11,066	8,743	2,323	10,738
営業利益	高速道路事業	4	38	▲ 33	7
	関連事業	47	59	▲ 12	10
	(うちSA・PA事業)	42	59	▲ 16	20
	計	51	97	▲ 46	17
経常利益		49	128	▲ 78	10
当期純利益		32	73	▲ 41	7

- ・高速道路料金収入は、前期比 600 億円減の 6,796 億円を見込んでいます。
- ・道路資産完成高は、前期比 2,796 億円増の 3,675 億円を見込んでいます。
- ・高速道路事業の営業費用は、前期比 2,219 億円増の 10,486 億円を見込んでいます。
- ・高速道路事業の営業利益は、前期比 33 億円減の 4 億円を見込んでいます。

- ・関連事業の営業収益は、前期比 91 億円増の 627 億円を見込んでいます。
- ・関連事業の営業費用は、前期比 103 億円増の 580 億円を見込んでいます。
- ・関連事業の営業利益は、前期比 12 億円減の 47 億円を見込んでいます。